

平成 22 年 5 月 31 日

各 位

株 式 会 社 リ ミ ッ ク ス ポ イ ン ト
代 表 取 締 役 社 長 吉 川 登
(コ ー ド 番 号 : 3 8 2 5)

問 い 合 わ せ 先
電 話 番 号 (0 3) 6 2 0 6 - 2 2 2 0

(訂正) 平成21年3月期 決算短信の一部訂正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期決算短信及び平成 22 年 5 月 21 日に開示いたしました、「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」の一部に訂正がございました。下記のとおりご報告いたします。

なお、訂正箇所につきましては、訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付しております。

記

訂正を行った決算短信について
平成 21 年 3 月期決算短信

訂正内容について

- ・連結キャッシュ・フロー計算書
- ・連結財務諸表に関する注記事項
- ・関連当事者情報
- ・損益計算書関係
- ・税効果会計関係

以上

当プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社リミックスポイント (<http://www.remixpoint.co.jp/>)

I R 担 当 e-mail : ir@remixpoint.co.jp

平成21年3月期 決算短信

(訂正前) 17ページ

④【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	△563,328	△444,089
減価償却費	36,145	108,422
のれん償却額	31,207	176,192
減損損失	—	78,764
その他の償却額	306	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	109,949	53,999
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	94,500	△93,276
受取利息及び受取配当金	△1,092	△590
支払利息	6,983	19,245
有形固定資産除却損	576	—
売上債権の増減額 (△は増加)	189,716	118,633
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,222	15,181
仕入債務の増減額 (△は減少)	△113,501	△69,803
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△62,338	—
前受金の増減額 (△は減少)	—	—
その他	△128,038	△229,083
小計	△410,138	△171,905
利息及び配当金の受取額	1,092	593
利息の支払額	△6,983	△18,882
法人税等の還付額	—	48,741
法人税等の支払額	△127,843	△792
特別退職金の支払額	—	△12,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	△543,872	△154,712

(訂正後)

④【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	△563,328	△444,089
減価償却費	36,145	108,422
のれん償却額	31,207	176,192
減損損失	—	78,764
その他の償却額	306	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	109,949	53,999
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	94,500	△93,276
受取利息及び受取配当金	△1,092	△590
支払利息	6,983	19,245
有形固定資産除却損	576	2,924
売上債権の増減額 (△は増加)	189,716	118,633
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,222	15,181
仕入債務の増減額 (△は減少)	△113,501	△69,803
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△62,338	—
前受金の増減額 (△は減少)	—	△380,537
その他	△128,038	243,029
小計	△410,138	△171,905
利息及び配当金の受取額	1,092	593
利息の支払額	△6,983	△18,882
法人税等の還付額	—	48,741
法人税等の支払額	△127,843	△792
特別退職金の支払額	—	△12,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	△543,872	△154,712

(8) 【連結財務諸表に関する注記事項】

(訂正前) 24ページ

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)												
	<p>※4. 減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下のとおり減損損失を計上しました。</p> <p>(1) 減損損失を認識した主な資産</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">本社（東京都千代田区）</td> <td rowspan="3">事業用資産</td> <td>ソフトウェア</td> <td>63,492千円</td> </tr> <tr> <td>特許権</td> <td>1,607千円</td> </tr> <tr> <td>のれん</td> <td>13,665千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 減損損失の認識に至った経緯 当社は、2期連続の営業損失を計上しており、固定資産について減損の兆候が認められることから、慎重に検討を行った結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、原則として管理会計上の事業部単位ごとにグルーピングを行い保有する固定資産を減損損失として特別損失に計上しております。</p>	場所	用途	種類	金額	本社（東京都千代田区）	事業用資産	ソフトウェア	63,492千円	特許権	1,607千円	のれん	13,665千円
場所	用途	種類	金額										
本社（東京都千代田区）	事業用資産	ソフトウェア	63,492千円										
		特許権	1,607千円										
		のれん	13,665千円										

(訂正後)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)												
	<p>※4. 減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下のとおり減損損失を計上しました。</p> <p>(1) 減損損失を認識した主な資産</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">本社（東京都千代田区）</td> <td rowspan="3">事業用資産</td> <td>長期前払費用</td> <td>63,492千円</td> </tr> <tr> <td>特許権</td> <td>1,607千円</td> </tr> <tr> <td>のれん</td> <td>13,665千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 減損損失の認識に至った経緯 当社グループは、2期連続の営業損失を計上しており、固定資産について減損の兆候が認められることから、慎重に検討を行った結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、原則として管理会計上の事業部単位ごとにグルーピングを行い保有する固定資産を減損損失として特別損失に計上しております。 尚、当該資産グループの回収可能額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能額はゼロとしております。</p>	場所	用途	種類	金額	本社（東京都千代田区）	事業用資産	長期前払費用	63,492千円	特許権	1,607千円	のれん	13,665千円
場所	用途	種類	金額										
本社（東京都千代田区）	事業用資産	長期前払費用	63,492千円										
		特許権	1,607千円										
		のれん	13,665千円										

(訂正前) 29ページ

(関連当事者情報)

当連結会計年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(追加情報)

当連結会計年度から平成18年10月17日公表の、「関連当事者の開示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第11号)及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準第13号)を適用しております。

1. 関連当事者との取引

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 連結財務諸表提出会社の役員及び個人主要株主(個人の場合に限る)等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	吉川 登	—	—	当社代表 取締役社長	(被所有) 直接 24.9 間接 3.4	二	資金借入	12,000	短期借入金	12,000

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	畑野 和夫	—	—	(株)メガディ ー 代表取締役	—	二	資金借入	—	長期借入金	49,052

(訂正後)

当連結会計年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(追加情報)

当連結会計年度から平成18年10月17日公表の、「関連当事者の開示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第11号)及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第13号)を適用しております。

1. 関連当事者との取引

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者の取引

連結財務諸表提出会社の役員及び個人主要株主(個人の場合に限る)等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員・ 主要 株主	吉川 登	—	—	当社代表 取締役社長	(被所有) 直接 24.8 間接 3.4	資金借入	資金借入	12,000	短期借入金	12,000

(注) 1. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の役員及び個人主要株主(個人の場合に限る)等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	畑野 和夫	—	—	㈱メガディ ー 代表取締役	—	資金借入	資金借入	—	長期借入金	16,652
							借入金利息	341	未払利息	—

(注) 1. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(税効果会計)

前連結会計年度 (平成20年3月31日)	当連結会計年度 (平成21年3月31日)
<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <p>繰越欠損金 242,093千円</p> <p>貸倒引当金 38,461千円</p> <p>投資有価証券評価損 44,749千円</p> <p>たな卸資産評価損 3,432千円</p> <p>ソフトウェア償却 7,583千円</p> <p>その他 6,839千円</p> <p>小計 343,159千円</p> <p>評価性引当額 Δ309,885千円</p> <p>繰延税金資産合計 33,273千円</p> <p>繰延税金負債</p> <p>投資有価証券 329千円</p> <p>繰延税金負債合計 329千円</p>	<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <p>繰越欠損金 362,922千円</p> <p>貸倒引当金 29,375千円</p> <p>投資有価証券評価損 66,727千円</p> <p>たな卸資産評価損 3,244千円</p> <p>ソフトウェア償却 7,371千円</p> <p>その他 11,646千円</p> <p>小計 481,289千円</p> <p>評価性引当額 Δ477,476千円</p> <p>繰延税金資産合計 3,812千円</p> <p>繰延税金負債</p> <p>投資有価証券 52千円</p> <p>繰延税金負債合計 52千円</p>
<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>税金等調整前当期純損失が計上されているため記載しておりません。</p>	<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>同左</p>

(訂正後)

(税効果会計)

前連結会計年度 (平成20年3月31日)	当連結会計年度 (平成21年3月31日)
<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <p>繰越欠損金 242,093千円</p> <p>貸倒引当金 30,321千円</p> <p>投資有価証券評価損 44,749千円</p> <p>たな卸資産評価損 3,432千円</p> <p>ソフトウェア償却 7,583千円</p> <p>その他 6,839千円</p> <p>小計 335,019千円</p> <p>評価性引当額 Δ301,745千円</p> <p>繰延税金資産合計 33,273千円</p> <p>繰延税金負債</p> <p>投資有価証券 329千円</p> <p>繰延税金負債合計 329千円</p>	<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <p>繰越欠損金 382,846千円</p> <p>貸倒引当金 29,375千円</p> <p>投資有価証券評価損 66,727千円</p> <p>たな卸資産評価損 3,244千円</p> <p>ソフトウェア償却 7,371千円</p> <p>減損損失 32,057千円</p> <p>その他 11,646千円</p> <p>小計 533,270千円</p> <p>評価性引当額 Δ529,457千円</p> <p>繰延税金資産合計 3,812千円</p> <p>繰延税金負債</p> <p>投資有価証券 52千円</p> <p>繰延税金負債合計 52千円</p>
<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>税金等調整前当期純損失が計上されているため記載しておりません。</p>	<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>同左</p>

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
※1. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。 ソフトウェア 30,911 千円 その他 1,654 千円 <hr/> 計 32,565 千円	※1. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。 ソフトウェア 5,587 千円 その他 1,989 千円 <hr/> 計 7,576 千円
※2. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 役員報酬 60,742千円 給与手当 180,155千円 支払手数料 63,018千円 外注費 47,965千円 地代家賃 37,464千円	※2. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 役員報酬 55,511千円 給与手当 201,663千円 支払手数料 67,622千円 外注費 13,400千円 地代家賃 36,035千円
※3. 研究開発費の総額は50,205千円であります。	※3. 研究開発費の総額は30,292千円であります。
※4. 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。 建物 407千円 工具、器具及び備品 169千円 <hr/> 計 576千円	※4. 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。 建物 136千円

(訂正後)

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)												
※1. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。 ソフトウェア 30,911 千円 その他 1,654 千円 計 32,565 千円	※1. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。 ソフトウェア 5,587 千円 その他 1,989 千円 計 7,576 千円												
※2. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 役員報酬 60,742千円 給与手当 180,155千円 支払手数料 63,018千円 外注費 47,965千円 地代家賃 37,464千円	※2. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 役員報酬 55,511千円 給与手当 201,663千円 支払手数料 67,622千円 外注費 13,400千円 地代家賃 36,035千円												
※3. 研究開発費の総額は50,205千円であります。	※3. 研究開発費の総額は30,292千円であります。												
※4. 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。 建物 407千円 工具、器具及び備品 169千円 計 576千円	※4. 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。 建物 136千円												
	※5. 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。 経営指導料 49,134千円 受取利息 875千円												
	※6. 減損損失 当事業会計年度において、当社グループは以下のとおり減損損失を計上しました。 (1) 減損損失を認識した主な資産												
	<table border="1"><thead><tr><th>場所</th><th>用途</th><th>種類</th><th>金額</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">本社(東京都千代田区)</td><td rowspan="3">事業用資産</td><td>長期前払費用</td><td>63,492千円</td></tr><tr><td>特許権</td><td>1,607千円</td></tr><tr><td>のれん</td><td>13,665千円</td></tr></tbody></table>	場所	用途	種類	金額	本社(東京都千代田区)	事業用資産	長期前払費用	63,492千円	特許権	1,607千円	のれん	13,665千円
場所	用途	種類	金額										
本社(東京都千代田区)	事業用資産	長期前払費用	63,492千円										
		特許権	1,607千円										
		のれん	13,665千円										
	(2) 減損損失の認識に至った経緯 当社は、2期連続の営業損失を計上しており、固定資産について減損の兆候が認められることから、慎重に検討を行った結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、原則として管理会計上の事業部単位ごとにグルーピングを行い保守する固定資産を減損損失として特別損失に計上しております。 尚、当該資産グループの回収可能額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能額はゼロとしております。												

(税効果会計関係)

前事業年度 (平成20年3月31日)	当事業年度 (平成21年3月31日)																																																
<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">157,263千円</td></tr> <tr><td>貸倒引当金</td><td style="text-align: right;">38,461千円</td></tr> <tr><td>投資有価証券評価損</td><td style="text-align: right;">44,749千円</td></tr> <tr><td>ソフトウェア償却</td><td style="text-align: right;">7,583千円</td></tr> <tr><td>たな卸資産評価額</td><td style="text-align: right;">3,103千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">671千円</td></tr> <tr><td>小計</td><td style="text-align: right;"><u>251,833千円</u></td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;"><u>△251,833千円</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;"><u>—千円</u></td></tr> <tr><td>繰延税金負債</td><td></td></tr> <tr><td>投資有価証券</td><td style="text-align: right;">329千円</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;"><u>329千円</u></td></tr> </table> <p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>税引前当期純損失が計上されているため記載しておりません。</p>	繰越欠損金	157,263千円	貸倒引当金	38,461千円	投資有価証券評価損	44,749千円	ソフトウェア償却	7,583千円	たな卸資産評価額	3,103千円	その他	671千円	小計	<u>251,833千円</u>	評価性引当額	<u>△251,833千円</u>	繰延税金資産合計	<u>—千円</u>	繰延税金負債		投資有価証券	329千円	繰延税金負債合計	<u>329千円</u>	<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">391,265千円</td></tr> <tr><td>貸倒引当金</td><td style="text-align: right;">29,375千円</td></tr> <tr><td>投資有価証券評価損</td><td style="text-align: right;">66,727千円</td></tr> <tr><td>ソフトウェア償却</td><td style="text-align: right;">7,371千円</td></tr> <tr><td>たな卸資産評価額</td><td style="text-align: right;">3,244千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">6,909千円</td></tr> <tr><td>小計</td><td style="text-align: right;"><u>504,894千円</u></td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;"><u>△504,894千円</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;"><u>—千円</u></td></tr> <tr><td>繰延税金負債</td><td></td></tr> <tr><td>投資有価証券</td><td style="text-align: right;">52千円</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;"><u>52千円</u></td></tr> </table> <p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>同左</p>	繰越欠損金	391,265千円	貸倒引当金	29,375千円	投資有価証券評価損	66,727千円	ソフトウェア償却	7,371千円	たな卸資産評価額	3,244千円	その他	6,909千円	小計	<u>504,894千円</u>	評価性引当額	<u>△504,894千円</u>	繰延税金資産合計	<u>—千円</u>	繰延税金負債		投資有価証券	52千円	繰延税金負債合計	<u>52千円</u>
繰越欠損金	157,263千円																																																
貸倒引当金	38,461千円																																																
投資有価証券評価損	44,749千円																																																
ソフトウェア償却	7,583千円																																																
たな卸資産評価額	3,103千円																																																
その他	671千円																																																
小計	<u>251,833千円</u>																																																
評価性引当額	<u>△251,833千円</u>																																																
繰延税金資産合計	<u>—千円</u>																																																
繰延税金負債																																																	
投資有価証券	329千円																																																
繰延税金負債合計	<u>329千円</u>																																																
繰越欠損金	391,265千円																																																
貸倒引当金	29,375千円																																																
投資有価証券評価損	66,727千円																																																
ソフトウェア償却	7,371千円																																																
たな卸資産評価額	3,244千円																																																
その他	6,909千円																																																
小計	<u>504,894千円</u>																																																
評価性引当額	<u>△504,894千円</u>																																																
繰延税金資産合計	<u>—千円</u>																																																
繰延税金負債																																																	
投資有価証券	52千円																																																
繰延税金負債合計	<u>52千円</u>																																																

(税効果会計関係)

前事業年度 (平成20年3月31日)	当事業年度 (平成21年3月31日)																																																		
<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">157,263千円</td></tr> <tr><td>貸倒引当金</td><td style="text-align: right;">38,461千円</td></tr> <tr><td>投資有価証券評価損</td><td style="text-align: right;">44,749千円</td></tr> <tr><td>ソフトウェア償却</td><td style="text-align: right;">7,583千円</td></tr> <tr><td>たな卸資産評価額</td><td style="text-align: right;">3,103千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">671千円</td></tr> <tr><td>小計</td><td style="text-align: right;"><u>251,833千円</u></td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;"><u>△251,833千円</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;"><u>—千円</u></td></tr> <tr><td>繰延税金負債</td><td></td></tr> <tr><td>投資有価証券</td><td style="text-align: right;">329千円</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;"><u>329千円</u></td></tr> </table> <p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>税引前当期純損失が計上されているため記載しておりません。</p>	繰越欠損金	157,263千円	貸倒引当金	38,461千円	投資有価証券評価損	44,749千円	ソフトウェア償却	7,583千円	たな卸資産評価額	3,103千円	その他	671千円	小計	<u>251,833千円</u>	評価性引当額	<u>△251,833千円</u>	繰延税金資産合計	<u>—千円</u>	繰延税金負債		投資有価証券	329千円	繰延税金負債合計	<u>329千円</u>	<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">306,522千円</td></tr> <tr><td>貸倒引当金</td><td style="text-align: right;">29,375千円</td></tr> <tr><td>投資有価証券評価損</td><td style="text-align: right;">66,727千円</td></tr> <tr><td>ソフトウェア償却</td><td style="text-align: right;">7,371千円</td></tr> <tr><td>たな卸資産評価額</td><td style="text-align: right;">3,244千円</td></tr> <tr><td>減損損失</td><td style="text-align: right;">32,057千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">6,909千円</td></tr> <tr><td>小計</td><td style="text-align: right;"><u>452,208千円</u></td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;"><u>△452,208千円</u></td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;"><u>—千円</u></td></tr> <tr><td>繰延税金負債</td><td></td></tr> <tr><td>投資有価証券</td><td style="text-align: right;">52千円</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;"><u>52千円</u></td></tr> </table> <p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>同左</p>	繰越欠損金	306,522千円	貸倒引当金	29,375千円	投資有価証券評価損	66,727千円	ソフトウェア償却	7,371千円	たな卸資産評価額	3,244千円	減損損失	32,057千円	その他	6,909千円	小計	<u>452,208千円</u>	評価性引当額	<u>△452,208千円</u>	繰延税金資産合計	<u>—千円</u>	繰延税金負債		投資有価証券	52千円	繰延税金負債合計	<u>52千円</u>
繰越欠損金	157,263千円																																																		
貸倒引当金	38,461千円																																																		
投資有価証券評価損	44,749千円																																																		
ソフトウェア償却	7,583千円																																																		
たな卸資産評価額	3,103千円																																																		
その他	671千円																																																		
小計	<u>251,833千円</u>																																																		
評価性引当額	<u>△251,833千円</u>																																																		
繰延税金資産合計	<u>—千円</u>																																																		
繰延税金負債																																																			
投資有価証券	329千円																																																		
繰延税金負債合計	<u>329千円</u>																																																		
繰越欠損金	306,522千円																																																		
貸倒引当金	29,375千円																																																		
投資有価証券評価損	66,727千円																																																		
ソフトウェア償却	7,371千円																																																		
たな卸資産評価額	3,244千円																																																		
減損損失	32,057千円																																																		
その他	6,909千円																																																		
小計	<u>452,208千円</u>																																																		
評価性引当額	<u>△452,208千円</u>																																																		
繰延税金資産合計	<u>—千円</u>																																																		
繰延税金負債																																																			
投資有価証券	52千円																																																		
繰延税金負債合計	<u>52千円</u>																																																		